

長子配布 令和6年度5月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

夢と志をもち、意欲的に取り組み、自己肯定感に 満ちた児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

「自分キラキラ、友だちもっときらきら」

1年生には入学式の時に、2~6年生には、始業式の日に話した言葉です。何となく抽象的ですが、「使命を果たしている姿」を子どもたちに合言葉として常に意識してもらったらと思います。

使命の1つ目:各教科の内容や優しさや人の良さを学ぶことで自分を高めることができ、自分がキラキラと輝いてほしいと思います。

使命の2つ目:人の役に立って喜んでもらうことで、友達や周りの人をいい気分にすることができ、友 だちをもっとキラキラにしてほしいと思います。

東日本大震災の時に食料等が配給される様子の写真が世界中から賞賛されました。1列にきちんと並び順番を待つ様子です。外国では争奪戦になるそうです。多様な考えが認められることは大切です。それ以上に相手の立場に立って物事を考える・行動するなどの規範意識が大切ですね。

子どもたちと向き合う 1 週間に

例年だと4月の中旬は、家庭訪問の時期です。「保護者と担任とのつながりをつくる・自宅の場所や遊ぶ場所、危険箇所を確認する・家庭での様子を知る・担任や学校への要望を聞く」ことが主な目的です。

一方、この1か月間は、担任が子どもたちのことをよく知り、信頼関係を深める大事な時期でもあります。特に高学年は、運動会に向けて一致団結するように担任等が深くかかわったりクラス替えで不安な気持ちに寄り添ったりします。

そこで、今年度は、子どもたちと向き合う時間を確保するため、家庭訪問ではなく、希望される家庭に学校での面談をさせていただきました。 26日の授業参観後や夏休みの個人面談でも機会は準備しています。担任や学校への相談は、いつでもお聞きしますので、必要な時に連絡をお願いします。

また、学校の朝の様子(我が子や周りの子がどう過ごしているのか)を自由に見ていただけるよう「来て見てウィーク」を5月2日(木)まで実施しています。

交通教室

今年も武雄警察署交通課の方や武雄町交通指導員の方に来ていただき、交通教室を行いました。高学年には飛び出しや自転車事故などの危険について、低学年には道路の渡り方について、指導をしていただきました。

武雄小学校の周りは道が狭く、大きな事故は少ないのですが、赤穂山トンネルから小楠交差点までは道が広く、死亡事故も起きていま



す。痛い思い、悲しい思いをしなくていいように自ら危険を回避する癖をつけておきたいですね。

GWの過ごし方

コロナが明け、旅行もかなりできるようになってきました。一方、物品も宿泊施設も値上がりしており、お財布にもダメージが・・・。そこで、遠くに行かなくてもお金をさほどかけなくても何かできない

か考えてみました。お子さんと一緒 に右記のようなことはいかがでしょ うか?他にいいアイデアがあったら 教えてください。

- ○ご当地のお取り寄せを楽しむ
- ○新しい趣味を見つける(キャンプ、料理、写真など)
- ○一人の時間を思い切り楽しむ (読書、ガーデニングなど)
- ○家族でクイズ、ボードゲーム等をする など